

ボランティア保険ご案内

ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした(傷害事故)、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(賠償事故)などの事故を幅広く補償します。

保険プラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン年間保険料	250円	300円	500円
天災プラン年間保険料(基本プラン年間保険料を含む)	400円	500円	800円

保険金の種類	補償概要(事故発生日から180日以内)	保険金額(補償の金額)		
		Aプラン	Bプラン	Cプラン
死亡保険金	死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。(注2)	620万円	840万円	1,230万円
後遺障害保険金	後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の42~100%をお支払いします(注3)			
入院保険金(1日につき)	入院日数1日につき、入院保険金日額をお支払いします。	4,400円	5,400円	8,400円
通院保険金(1日につき)	通院日数1日につき(90日を限度として)通院保険金日額をお支払いします。(注4)	2,800円	3,200円	5,800円
手術保険金	入院中に受けた手術は入院保険金日額×10、入院中以外の手術は入院保険金日額×5の額をお支払いします。			
対人・対物共通 賠償責任 人格権侵害	第三者の身体または財物に損害を与え、または名誉毀損やプライバシーの侵害により法律上の損害賠償責任を負った場合に、お支払いします。	5億円(限度額)		

(注1) 傷害事故の保険金は、健康保険・生命保険・加害者からの賠償金などとは関係なくお支払いします。事故発生日を含めて180日以内の死亡・後遺障害・入院・通院・手術について保険金をお支払いします。

(注2) 既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした金額を控除した残額をお支払いします。

(注3) 保険期間(保険のご契約期間)を通じ合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。

(注4) 平常の生活またはお仕事に支障がない程度に治ったとき以降の通院に対しては、保険金をお支払いできません。

○ 特定感染症(1類、2類、3類)により発病の日から180日以内に死亡した場合、葬祭費用として300万円を限度に葬祭費用の実額をお支払いします。

天災プランとは…

地震もしくは噴火、津波及びこれらにともなう生じた事故等の死亡・後遺障害・ケガも補償します。以下の特約が付帯され、補償内容がグレードアップしますのでおすすめです。

(天災危険補償特約・第三者加害行為等による傷害保険金倍額支払特約)



ボランティア行事用保険

社会福祉協議会及び民間のボランティア活動推進団体が主催者となって、ボランティア活動に関わる行事を行う際の、主催者および参加者のケガ(傷害事故)と、主催者が賠償責任を負った事故を補償します。

行事区分	日 帰				宿 泊					
	1日1名につき				1名につき					
	A行事*	B行事*	C行事*	現地集合型 (A行事のみ)	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
保 険 料	30円	127円	248円	30円	222円	272円	278円	328円	334円	340円

保険金の種類	補 償 概 要 (事故発生日から180日以内)	保険金額(補償の金額)	
			死亡保険金
後遺障害保険金	後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の4~100%をお支払いします。(注2)	315万円(限度額)	
入院保険金(1日につき)	入院日数1日につき、入院保険金日額をお支払いします。	3,300円	
手術保険金	入院中に受けた手術は入院保険金日額×10、入院中以外の手術は入院保険金日額×5の額をお支払いします。		
通院保険金(1日につき)	通院日数1日につき(90日を限度として)通院保険金日額をお支払いします。	2,200円	
賠償責任	対人 1名1事故	第三者の身体・生命を害し法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。(多数の第三者に事故が発生した場合は、1事故を適用します。)(注3)	2億円(限度額)
	対物 1事故	第三者の財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。(注3)	1,000万円(限度額)

「ケガ」とは急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。なお傷害には細菌性・ウイルス性食中毒を含みます。

日帰行事ABCにおいて、事故発生時に名簿または参加証明書を提出できない場合は、保険金が支払われない場合があります。

* A・B・Cの行事区分は内容により異なります。

(注1) 傷害補償の保険金は、健康保険・労災保険・生命保険・加害者からの賠償金などとは関係なくお支払いします。事故発生日を含めて180日以内の死亡・後遺障害・入院・通院・手術について保険金をお支払いします。

(注2) 保険期間を通じ合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。

(注3) 免責金額(自己負担額)は対人・対物事故ともにゼロとします。

● 社会福祉法人向け役員賠償責任保険及び福祉ふれあい活動総合補償等の「福祉に関する保険」も取り扱っております。詳しくは愛知県社会福祉協議会ホームページ「福祉の保険」をご覧ください。

※お申し込み、ご照会は下記の市区町村社会福祉協議会まで

〒461-0011 名古屋市東区白壁1丁目50番地
愛知県社会福祉協議会 総務部 TEL 052-212-5500 FAX 052-212-5501

取扱代理店 〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-31 ニュープラスビル7階
株式会社ニュータス(愛知県社会福祉協議会 指定代理店) TEL 0120-258-517 FAX 052-204-8988

令和5年度

「子どもの居場所づくり応援事業」

実施報告書 (子ども食堂取組事例集)



もくじ

はじめに	1
▶ 子ども食堂の取組事例集	
1. どうぞランチ（瀬戸市）	2
2. 町方ふれあい子ども食堂（愛西市）	4
3. いちほし小町（岡崎市）	6
4. 小牧市社会福祉協議会	8
▶ 「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書	10



はじめに

昨年度に引き続き、今年度もこうして「子どもの居場所づくり応援事業」報告書をまとめることができました。事業の中核となる「子どもの居場所づくり推進会議」は、構成員が例年以上に多忙ななか、7月・3月の両会議はもとより、県内3地区（尾張・知多・三河）における検討部会および研修会を10～11月にかけて今年度も行うことができました。また、「支援対象児童セミナー」も2月に行うことができました。

昨年度設立した「あいち子ども食堂応援ステーション」（地域拠点）はこちらの予想を上回り、県内35か所にもなりました（3月5日現在）。こうした動きもあって、全国こども食堂支援センターむすびえの調査（2023年9～11月実施）では、404か所で都道府県ランキング6位、前年度比増加数111か所で同4位の結果を得ました。しかしながら、小学校数が県内に963校あるうち、271校区しか子ども食堂がありません。さらに人口比で見ると5.38か所にしかならず、ランキングでも39位に位置しています。

昨年12月、「こども大綱」が閣議決定されました。大綱は、こども食堂が「すでに多くのこども・若者の居場所」であり、「地域におけるこどもの意見反映・社会参画の拠点」になるよう環境整備すると述べています。また、大綱に先立って出された「こどもの居場所づくりに関する指針（こども家庭審議会答申）」では、こども食堂をはじめとするこどもの居場所づくりを進めるにあたって、①ふやす（多様なこどもの居場所がつけられる）、②つなぐ（こどもが居場所につながる）、③みがく（こどもにとって、より良い居場所となる）、④ふりかえる（こどもの居場所づくりを検証する）、の4つの基本的視点が明記されました。

こうした視点に立って、こども食堂をはじめとする「こどもの居場所」を愛知県内でもさらに増やし育てる取り組みが必要です。これから地域で「こどもの居場所」を広げていくために、本報告書が「こどもの居場所」をこれから立ち上げようとされる方はもとより、すでに運営される方や活動を支える方の一助として、ご活用いただければ幸いです。

令和6年3月

子どもの居場所づくり推進会議
委員長 中村 強 士



どうぞランチ | 瀬戸市

- 設立年月日
2021年1月
- 活動場所
瀬戸市菱野台4-4-3 菱野ウイングビル A4
- スタッフ人数
8人前後
- 開催日時
毎週日曜日 11:00~14:00
- 参加費
子ども 無料 大人 300円
- 連絡先
NPO法人エム・トゥ・エム TEL:0561-85-6282
E-mail: toto@mtom.info

活動のきっかけ

2020年8月コロナ禍で失業・収入減となった外国籍の方々への食糧支援を始めたことがきっかけとなり、食糧配布だけでなく共に過ごす時間を設けようと「子ども食堂」を開始した。今は日本の子どもや外国籍の子どもが入り混じっている。

場所の確保

法人の拠点を活用。

運営及び食品の確保

賛同・応援して下さる地域の人・企業の方々からの寄付及び瀬戸市子ども応援補助金を申請活用。

広報

行政の子ども未来課・子ども若者支援センターにチラシを設置。

法人ホームページ掲載、拠点で配布等。



ある日のメニュー



イベントの様子



活動内容

- 毎週日曜日、栄養バランスを考えた献立を決め、必要に応じて前日に仕込みをすることもある。
- 本棚に幼児から中高生対象の本・ボードゲーム・レゴブロックなどを常時置いてある。
- 夏休み等の休校日の平日、子どもたちの居場所として開放。お昼ご飯を用意する曜日もある。(昨年は水曜)
- クリスマス会やハロウィンパーティーなどを行って、交流を深めている。

運営する上で気をつけていること

- スタッフは、マスク着用・手の消毒・ペーパータオル使用・使い捨て手袋使用。
- 会場は、常にアルコールで机などを拭く。
- 来場者には除菌のため、熱いオシボリを渡している。
- アレルギー対応はできていませんが、食品衛生管理責任者を置き、食堂の安心安全を守っている。

食事で大切にしていること

- 栄養バランス、食欲をそそる見栄え、ペルー料理の日を設けることもある。
- 季節感。(ちらし寿司やお赤飯など)

目指す姿は

食事だけでなく、子どもや地域の人たちの居場所として活用してもらえるよう、本棚を設け貸出しもしている。

地域の高齢のひとり暮らしの人たちも、気楽に来てもらえる居場所になること。

今は、スタッフとの交流も深まりつつあることはうれしい。

また、法人としては、困りごと相談などがあれば伺い専門家や行政につなげることもしている。

この地域は、外国籍の人たちの多い地域であり、顔見知りの関係を作り、困りごとなどの一助となれることを願うものです。



会場外の立て看板
日本語とスペイン語で表示



クリスマス会



夏休みのチラシ

町方ふれあい子ども食堂 | 愛西市



- 設立年月日
2018年2月
- 活動場所(作業所)
町方町内(代表者自宅)
- スタッフ人数
33名
- 開催日時
毎月第4月曜日 午後から夕方
- 支援対象家庭
愛西市子育て支援課から紹介されたひとり親家庭
- 連絡先
代表 水谷 智恵 TEL:090-7023-9152

活動のきっかけ

昨今、地域コミュニティが希薄になってきたと感じたため、地域の大人が「食」を通じて子どもたちとコミュニケーションを図るため、子どもたちへ食事の場を提供し、子どもたちを見守る活動として始めました。

コロナ禍に突入して

1回の開催で270名から300名超の参加する食堂をバイキング方式で2年間開催してきましたが、コロナ禍に突入して、食事の提供は中止しました。(2020年3月)

私達にできることは?

2020年8月、スタッフみんなで話し合い、「今、私たちにできること」は何か、真に困っている方へ手を差し伸べられないかと話し合い、愛西市子育て支援課へ相談に行き、支援家庭と子ども食堂の双方合意の下で、子育て支援課から生活に困って見えるひとり親家庭を紹介していただき、2021年1月より、毎月第4月曜日の夕方お弁当や食材等を宅配する「ひとり親家庭食材等宅配事業」を本格的に開始しました。



スタッフのみなさん

運営費の確保

県、市社協の助成金、民間企業の補助金を活用。特に民間企業の補助金は、支援者の弁当代に充当できるため貴重な財源となっています。

あいち子ども食堂応援ステーション(あいステ)の活用

2022年4月、愛知県社会福祉協議会から食材等の配布拠点(あいステ)に認定され、又、愛知子ども応援プロジェクト、あいち子ども食堂ネットワーク等の団体からも協力依頼を受け、周辺子ども食堂の食材配付の拠点機能を担い、同時に子ども食堂運営者の情報交換の場にもなっています。



あいち子ども食堂応援ステーション

活動内容

- 毎月第4月曜日、午後からボランティアが20名ほど集まり、企業、個人様から頂いたお米を始めとする食材等を家庭ごとに仕分け・梱包、そしてお弁当の仕分けを行います。
- 水を始めとする飲料水は、重いため箱に詰めます。
- 仕分けが完了したら、次は、宅配ボランティアが2人1組6グループに分かれて、自家用車で支援者の自宅へ宅配をします。
- 宅配した時に、できる限り母親の様子や子どもの様子、或いは家の様子を見てきます。



お弁当の仕分け作業

アピールポイント

宅配ボランティアは、2人で1グループになり、担当の世帯に宅配します。
できる限り、同じボランティアが同じ世帯を回ること
で母親とのコミュニケーションを大切にして、気軽に会
話ができるようにしています。
ひとり親家庭には、ひとりじゃないよ。地域みんな
が見守っているから、何でも相談してという安心感を伝
えています。

今後の目標

現状、子育て支援課から紹介されるひとり親家庭は、
徐々に増加しています。各家庭では様々な課題を持つ
てみえるところもありますが、私たちの支援で少しでも
経済的負担や精神的負担が軽くなり、支援家庭を少し
でも減らしていきたいと考えています。



お母さんといっしょ



支援世帯で



食材を喜ぶ子どもたち

いちほし小町 | 岡崎市



- 設立年月日
2018年4月
- 活動場所(作業所)
いわづハウス
- スタッフ人数
約15名
- 開催日時
第3土曜日 12:30~14:30
- 参加費
大人 寄付 子ども 無料

活動のきっかけ

2004年に子どもの自立と食育を兼ねて市民活動団体で食堂支援をスタート。2016年1月に認定NPO法人葵風を設立。共生社会を目指した障がい児支援と地域支援を行うために、いちほし小町をスタートさせました。その後、地域に根付かせるため、古民家をリノベーションし、2019年1月にいわづハウス完成。その年の6月にいちほし小町が開催されるようになりました。2020年にはキッチンカーを導入し、コロナ禍や公園での活動、学校へのボランティア活動にも対応できるようになりました。2021年より、フードパントリー活動にも取り組み、多世代間交流のコミュニティカフェもスタート。2022年5月にハブステーションと愛知子ども食堂ステーション(あいステ)に認定。地域の方々、たくさん子ども達に助けられながら、活動しています。

スタッフの確保

スタッフはボランティアを中心に行政・包括・児童相談所・社協・地域・民生・福祉委員などの方々に、協力していただいています。

運営費の確保

運営費としては、こども食堂の活動に賛同してくださっている個人の方からの寄付金や助成金、食材は農協で農家の方からの提供や地域の方からの支援により成り立っています。



立派な野菜いただきました



たくさんの企業さんからのご支援を頂いています

告知方法

インスタグラムを通じての告知、紙面配布を中心にを行っています。

活動内容

障がい児や地域子ども達がスタッフとして調理や販売員などを務め、大人は仮想通貨(ほし)を使い、雑貨屋さんで買い物します。子ども達には働いた分の仮想通貨(ほし)を給料としてもらい、買い物を楽しんで金銭感覚を身につけるのも目的としています。食事と働く楽しさ、買い物学習などにより将来的な自立にむけての練習も兼ねています。



雑貨屋さんの様子



活動で大切にしていること

子ども達自身の思いや考え方を一番とし、その子ども達にとっての最適な支援方法を提供できるように、様々な関係機関に連携できる体制を整え、家庭生活の基盤である食支援を大切にしています。



お持ち帰りのお弁当



おかずは毎回違います



ボランティアさんと調理方法の相談



コロナが5類に移行したため、食事が出来るようになりました



子供達にも手伝ってもらってます



食事の後の片付けもお仕事として頑張ってます

今後に向けて

認定NPO法人葵風は困難な状況下の子どもたち・親の精神的、経済的な自立を目的とし、必要な時の居場所作り、また、適切なサポートを受けられ、それぞれが望む場所で安心して暮らせるのが目標です。



フードパントリー活動トレジャー7活動の様子



支援品を詰め込む作業も子ども達とボランティアさんが協力して行います



支援品を協力して詰めてます



きちんと全部入ってるかチェック



お礼状作成・メニューの作成も子ども達です



お皿洗いも頑張ってます



小牧市社会福祉協議会



●子ども食堂数

8か所

●子ども食堂への支援内容

立ち上げや運営に関する相談支援、
寄付食品等の提供、開設支援助成金交付、
広報・PR活動

●連絡先

小牧市小牧五丁目407番地 小牧市ふれあいセンター内
小牧市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL: 0568-65-7051

活動のきっかけ

小牧市では、2016年に初めて飲食店による子ども食堂が誕生しましたが、2019年に閉店。その後も子ども食堂を望む声が聞かれていました。2021年、小牧市社会福祉協議会が故人の遺志を受け継ぎ、地域の交流スペースとして建て替えた「とよめサロン」(小牧市北外山)の厨房を活用し、地域住民主体による子ども食堂、「こどもっと食堂」がオープンしました。



とよめサロンの厨房での調理の様子



フードパントリーを継続してきましたが、
現在会食式での開催を検討中



JAより野菜等の提供を受け調理

担い手養成講座の開催

2022年、他地区にも子ども食堂を必要としている人や立ち上げたいという人がいることを知り、子どもの居場所づくりについて学ぶ、地域活動の担い手養成講座を開催し、その翌年には、講座参加者とともに新しく子ども食堂を立ち上げることができました。



居酒屋のママさんの手料理が好評
ますみキッチン(小牧市多気)

地域のあたたかい支援を感じ

この頃から子ども食堂を支援したいという問い合わせも増えてきました。米や食材、菓子、寄付金等、地域住民や企業、団体からの寄付が当会へ届くようになりました。



企業から提供された
お菓子をセットで



各地区民生・児童委員連絡協議会主催フードドライブ事業。
集まった食品は小牧市善意銀行へ寄付されます

子ども食堂支援事業の立ち上げ

2023年4月、これまで行ってきた子ども食堂の立ち上げや運営に関する相談支援と小牧市善意銀行や企業等と連携した食品等の提供に加え、新たに寄付金を財源とした子ども食堂開設支援助成金の交付を行う「子ども食堂支援事業」を立ち上げ、今年度2か所の子ども食堂に助成金を交付しました。

持続可能な活動のために

公式ラインアカウントを作り、現在8か所の登録食堂へ、団体等の助成金や食品提供等の情報を随時配信したり、ボランティアをしたい、食堂に参加したいという人達を繋げるツールとしても活用しています。

みんなの「できたらいいな」を応援

子ども食堂の開催方法や関わりたいと思う人は多様多様。地域住民主体の活動を支援するため、コミュニティ組織、学校、企業、団体、行政等の関係機関と連携する中、新たな出会いも生まれています。

みんなが参加できる場になるように

企業数社より、自社農園で働く障がいのある方々が生産した野菜を子ども食堂へ提供し、地域へ貢献する



企業農園で働くみなさん



農園の野菜を使った献立



お礼のメッセージで交流

ことで更なるやりがいを感じられるよう共に取り組みないかとの申し出をいただき、企業と協力し野菜の提供から受け取りまでの流れを作りました。無農薬で丁寧に育てられた野菜を使った献立は子どもにも大人にも好評です。子ども食堂からは、お礼のメッセージを送るなどして交流しています。

今後に向けて

今後は、小牧市内の子ども食堂のネットワークを作り、これからも世代を問わず、子どもの居場所をつくりたい人、応援したい人、参加したい人達を繋げていきたいと思えます。

子ども食堂の取り組み紹介

●地域子ども食堂∞無限堂∞(小牧市下末区)

2023年8月、地域住民が中心となり、子どもから高齢者まで多世代が交流できる地域食堂が誕生しました。この取り組みは市内でも初めてのもので、地域住民の他、地域の陶小学校、陶小学校区地域協議会の協力により実現しました。毎回子どもから高齢者まで約70名が参加しています。

調理スタッフは地域の老若男女十数名。陶小学校の家庭科室を使用して調理し、会場の下末会館まで運び



子どもから高齢者まで多世代交流の場に

ます。また、ご飯は地元の飲食店が炊いて運営に協力してくれており、JAや企業農園からも野菜などの提供を受けています。

子ども達は、ボランティアの付き添いのもと子ども食堂用下校分団で、陶小学校から直接、会場の下末会館へ向かい、食事までの間大人が見守る中宿題に取り組んだり、子ども同士で遊んだり、高齢者と将棋をするなどして過ごしています。月1回、仕事帰りの保護者や地域の高齢者が子どもを囲み、一緒に温かい食事を食べながら談笑する賑やかな交流の場となっています。



調理スタッフは地域の老若男女。
小学校の家庭科室で調理します



ボランティアの付き添いで小学校から
会場の地域の会館へ向かいます

令和5年度「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書

1 子どもの居場所づくり応援事業について

愛知県社会福祉協議会では、令和元年度から、愛知県の補助事業として、「子どもの居場所づくり応援事業」を実施し、5年目となりました。

子ども食堂は、全国に広がっており、NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえの2024(令和6)年2月調査発表によると、コロナが「5類感染症」へ移行したことによる、コロナ対策の緩和の動きにより増加し、全国に9,132か所あり、昨年より約1,769か所増えました。

愛知県においても、子ども食堂(愛知県調査)は、調査を始めた2017(平成29)年には56か所だったのが、2023(令和5)年度は404か所と年々増えており、各地域で取組が広がっています。

2 事業の内容

(1) 「子どもの居場所づくり推進会議」の運営、検討部会の開催

事業の中核となるのが、「子どもの居場所づくり推進会議」(以下、推進会議)です。

推進会議において、子ども食堂の置かれている現状と課題について協議した結果、①資金と食材の確保、②地域との連携、③場所の確保、④人材の確保、⑤リスク管理の5つの課題が挙がってきました。とりわけ、②の地域との連携や④の人材の確保について、推進会議や検討部会で議論がされました。

●協議概要

推進会議第1回では、昨年度の協議内容に引き続き、子ども食堂の課題や協力策を検討いただき、各委員が自分たちの組織でできる協力策の実施状況等について報告いただきました。

また、「あいステ」の認定状況や活動状況について、ご意見を伺いました。

推進会議第2回では、引き続き、各委員の協力策の取組状況、その効果や課題、また今後の予定等の情報共有を行いました。そして、推進会議第1回にて確認された「あいステ」の活動状況について、ご意見を伺いました。

また、専門部会として、県内3地区で、検討部会を開催し、地域の状況の把握と課題の検討を行いました。検討部会は、前半で開催された「子ども食堂支援者及び開設準備研修会」のグループワークで出された意見をもとに協議を行うと共に、支援者としての日ごろの思いや取組状況などを意見交換していただきました。

推進会議 2回開催		検討部会 3回開催	
第1回	7月25日(火)	知多地区(常滑市)	10月6日(金)
第2回	3月5日(火)	尾張地区(名古屋市東区)	11月14日(火)
		三河地区(西尾市)	11月28日(火)

(2) 子ども食堂支援者及び開設準備研修会の開催

身近な地域で、子ども食堂をこれから始める方や、子ども食堂を運営する方、地域の福祉活動を支援する関係機関をつなぎ、子ども食堂を地域に定着させ広げていくことを目的に、県内3地区で開催しました(検討部会と同日の開催)。

知多地区(常滑市) 令和5年10月6日(金) 参加者:13名	●講 義: あいち子ども食堂ネットワーク代表 子どもの居場所づくり推進会議副委員長 忠平 守 氏 ●活動報告: 常滑市社会福祉協議会事務局長 高津博丈 氏
尾張地区(名古屋市東区) 令和5年11月14日(火) 参加者:45名	●講 義: あいち子ども食堂ネットワーク代表 子どもの居場所づくり推進会議副委員長 忠平 守 氏 ●活動報告: 特定非営利活動法人のわみサポートセンター のわみ相談所事務局長 鈴木美雪 氏
三河地区(西尾市) 令和5年11月28日(火) 参加者:33名	●講 義: あいち子ども食堂ネットワーク代表 子どもの居場所づくり推進会議副委員長 忠平 守 氏 ●活動報告: 特定非営利活動法人葵風理事長 月東佳寿美 氏

●子ども食堂支援者及び開設準備研修会 3会場 参加者状況

種別	実践者	準備中	社協	行政	その他	合計
知多(10/6)	3	2	3	4	1	13
尾張(11/14)	11	18	5	5	6	45
三河(11/28)	9	6	8	5	5	33
合計	23	26	16	14	12	91

～参加者の意見(一例)～

- これから子ども食堂を始めるにあたり色々心配していたが、“楽しく無理せず”の話を聞いて元気が出た。
- 悩んだことは社協、地域に話すことも大切。実際に開催して出てきた課題をみなさんに協力いただき、解決していきたいです。
- 子ども食堂の枠を超えた様々な取組をご紹介いただき、自分の団体でも実践できないか考える機会となりました。

(3) 令和5年度支援対象児童セミナーの開催

子ども食堂運営者が困窮をはじめとした様々な生活課題を抱える子どもたちに気付いたとき、支援機関につなげるため、そうした子どもたちの特徴を学び、どのような相談先があるのかなどの情報を知ってもらうことを目的に開催しました。特に今回は、子どもの貧困に焦点を当てて実施しました。

令和6年2月27日(火) WEB開催 参加者:39名	●説 明: 「子どもの貧困 一輝く未来に向けて私たちにできること」 日本福祉大学社会福祉学部准教授 子どもの居場所づくり推進会議委員長 中村強士 氏 ●事例報告: 「子ども食堂における貧困支援と居場所づくりについて」 特定非営利活動法人はぐくみ代表理事 山洞知里 氏
----------------------------------	---

●支援対象児童セミナー 参加者状況

子ども食堂	社協	行政	その他	合計
19	10	9	1	39

～参加者の意見(一例)～

- アセスメントシートなどで共有することも必要性があると感じます。
- 子どもの言動や行動を見逃さないという事の大切さを再認識しました。
- 事例で教えていただき、これからの活動の参考になりました。

(4) 「子どもの居場所応援プラザ」の設置・運営

子ども食堂を開設・運営する上での様々な相談に応じるため、令和元年7月から、専門の相談窓口として、「子どもの居場所応援プラザ」を県社協ボランティアセンター内に設置し、随時、相談を受け付けています。

～相談の一例～

- 子ども食堂を始めたい。資金や物資の援助はあるか。情報が欲しい。
- 子ども食堂に食材を寄付したい。どうしたらいいか。
- 子ども食堂や学習支援に関心がある。研修会の予定等教えて欲しい。

●相談件数

内訳	2022年	2023年
子ども食堂	153	168
学習支援	64	57
両方	12	21
その他	11	7
合計	240	253

設置場所 愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター事務局内
名古屋市中区東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉協議会 2階
TEL:052-212-5504 FAX:052-212-5503
E-mail: info@aichivc.jp

(5) 情報発信

●ホームページによる情報発信

愛知県社協ボランティアセンターのホームページ内に子ども食堂の情報を掲載しています。

●2024年版愛知県「子ども食堂マップ」の作成

愛知県の調査を基に、令和5年9月現在の「子ども食堂マップ」を作成しました。このマップでは、県内で活動している子ども食堂のうち、掲載を御承諾いただいた子ども食堂の情報を集めています。随時追加も行っていきます。

※本会ボランティアセンターホームページから、ダウンロードできます。➡ <http://aichivc.jp>

●機関紙「ぷらざ通信」の発行

子どもの居場所づくりに関わる活動や情報を広く知ってもらうため、子ども食堂や子どもの学習支援などの取組を紹介する機関紙を、PDFファイル形式で発行しています。

3 今後に向けて

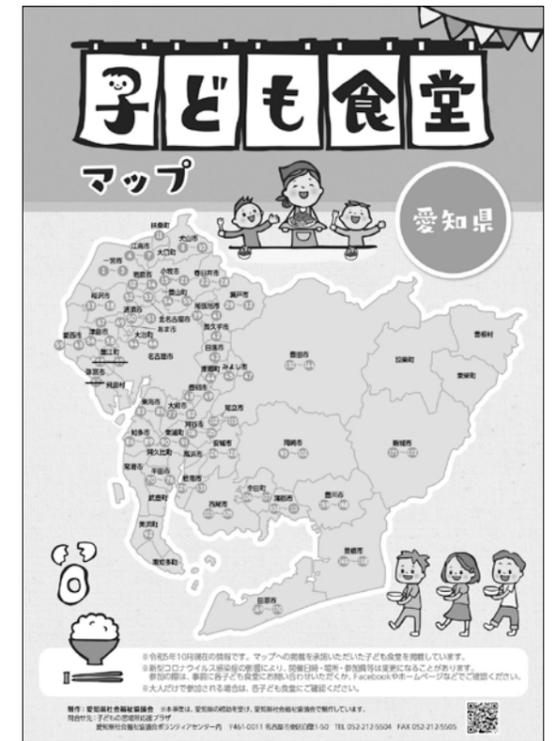
子どもの居場所を子ども食堂だけではなく、学習支援なども含めて幅広く捉え、「子どもの居場所づくり推進会議」にて議論をしていきます。

また、ホームページを使用した食材提供等の呼びかけや、県社協が認証する食材提供の地域拠点「あいステ」の整備など、引き続き子ども食堂の設置・運営支援を推進していきます。

●2024(令和6)年度の具体的取組

- 「子どもの居場所づくり推進会議」において、子どもの居場所の多様なあり方や運営上の課題など、子どもの居場所についての研究協議を推進する。
- 「子どもの居場所応援プラザ」において、子ども食堂を開設・運営する上での様々な相談に応じる。
- 子どもの居場所の開設・運営のため、地域における検討会や情報交換会を開催する。
- ホームページ、機関誌「ぷらざ通信」等の印刷物により、情報を発信する。

●2024年版 子ども食堂マップ●



●ぷらざ通信 2024.3月号●



子どもの居場所づくり推進会議 要 領

1 目 的

本会議は、分野や組織の垣根を越えた連携・協働のしくみづくりとして、ネットワーク組織を構築し、子どもの居場所づくりのための具体的方策について検討・実践することを目的とする。

2 協議内容

本会議は、次の事項について協議する。

- (1) 子ども食堂の設置拡大・基盤強化に関すること
- (2) 子ども食堂の開設・運営についての研修会・交流会等に関すること
- (3) 子ども食堂の学習・生活支援に関すること
- (4) 各市町村における相談支援体制の構築に関すること
- (5) その他、子どもの居場所づくりに関する必要な事項

3 委員の構成

- (1) 本会議の委員の定数は、21名以内とする。
- (2) 委員は、行政機関、社会福祉協議会、子ども食堂関係団体、民間支援団体、企業等の関係者及び学識経験者をもって構成する。

4 委員長及び副委員長

- (1) 本会議には、委員長、副委員長を置き、委員の互選により選出する。
- (2) 委員長は、本会議の議長を務める。
- (3) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるときは、その職務を代理する。

5 委員の任期

委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 作業部会の設置

本会議には、必要に応じて作業部会を設置することができる。

7 事務局

本会議の事務局は、愛知県社会福祉協議会地域福祉部に置く。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年9月1日から施行する。

No.	役職	選出区分1	選出区分2	所 属	役職名	氏 名
1	委員長	学識経験者	大学教員	日本福祉大学 社会福祉学科 (愛知県子どもの貧困対策推進協議会)	准教授	中村強士
2	副委員長	子ども食堂関係者	あいち子ども食堂 ネットワーク		代表	忠平 守
3	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (西尾張)	愛西市社会福祉協議会	支援係長	竹村ゆき子
4	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (東尾張)	日進市社会福祉協議会	係長	伊藤優子
5	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (知多)	阿久比町社会福祉協議会	主査	守口晶三
6	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (西三河)	西尾市社会福祉協議会	主事	佐伯智映子
7	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (東三河)	田原市社会福祉協議会	主任	和田直美
8	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (名古屋)	名古屋市社会福祉協議会	主査	大野裕代
9	委員	民間支援団体・企業等	NPO(学習支援)	NPO法人アースネット	リーダー	城取洋二
10	委員	民間支援団体・企業等	NPO(学習生活支援)	NPO法人ママ・ちよこ	学習支援 コーディネーター	松岡由里子
11	委員	民間支援団体・企業等	NPO(食材・物流支援)	NPO法人フードバンク愛知	理事長	木原賢治
12	委員	民間支援団体・企業等	県内社会福祉法人 (尾張)	社会福祉法人中央福祉学院 児童養護施設ゆづりん	施設長	小尾康友
13	委員	民間支援団体・企業等	県内社会福祉法人 (三河)	社会福祉法人太陽	理事長	榊原千恵美
14	委員	民間支援団体・企業等	共同募金	愛知県共同募金会	企画調整 課長	榊原英夫
15	委員	民間支援団体・企業等	農業協同組合	JA愛知中央会	愛知くらし 課長	松浦直人
16	委員	民間支援団体・企業等	生活協同組合	生活協同組合コープあいち 組合員活動支援部	担当	稲川孝光
17	委員	民間支援団体・企業等	協力企業(流通業)	株式会社セブンイレブンジャパン (日本フランチャイズチェーン協会会員企業)	東海ゾーン 行政推進担当	足立 翔
18	委員	民間支援団体・企業等	民生児童委員	東海市役所 女性・子ども課	主任	木村智明
19	委員	行政機関	教育委員会	愛知県教育委員会 あいちの学び推進課	課長	小野内茂喜
20	委員	行政機関	愛知県	愛知県福祉局 児童家庭課	課長	吉田二朗

あいち子ども食堂応援ステーション認定団体一覧

令和6年3月31日現在

	市区町村名	認定番号	団 体 名	代表者氏名	所 在 地	連絡先
名古屋	東区	13	株式会社キッチンキング (キッチンキング子ども食堂)	山野 元久	461-0003 名古屋市長区筒井2-11-24 葵ビル1F	090-1623-7297
	中区	17	地域食堂おいまつ	津田 豊郎	460-0012 名古屋市中区千代田2-7-28	090-5879-2017
	昭和区	22	一般社団法人つなぐ子ども未来	安藤 綾乃	466-0848 名古屋市長区長戸町5-46 つなぐハウス	090-3953-2561
	南区	9	ほんわか食堂	松土 敏子	457-0843 名古屋市長区忠次1-5-1	052-692-7544
	守山区	19	一般社団法人つなぐ探究所	中村 真由子	463-0009 名古屋市長区緑が丘901 緑が丘センター104	090-1622-0029
	名東区	31	元気もりもり食堂	安達 恵子	465-0011 名古屋市長東区山の手3-807	090-7023-2356
	名東区	35	特定非営利活動法人smileすまいる	火口 弥生	465-0086 名古屋市長東区代万町3-11-1 星ヶ丘ドクターズビル2F すてっぷ工房「あかね」内	052-753-8436
	一宮市	6	のわみ相談所	三輪 憲功	491-0869 一宮市長山町1-10-4	0586-72-9697
	一宮市	29	NPO元氣ふれあい倶楽部	水島 邦雄	491-0105 一宮市長浅井町大日比野北浦 2668-1	0586-64-7078
	一宮市	30	一般社団法人あいみんテラス	片山 智克	491-0854 一宮市長北園通3-15	090-1583-7493
尾張	瀬戸市	7	NPO法人エム・トゥ・エム	服部 悦子	489-0887 瀬戸市長菱野4-4-3 菱野ウィングビルA-4	0561-85-6282
	春日井市	28	就労移行支援事業所ふらっぷ	藤井 貴之	486-0825 愛知県春日井市長中央通1-52 セントラルビル2F	0568-83-1181
	稲沢市	10	一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト	藤野 直子	492-8021 稲沢市長赤池東山町91 ハジメ産業株式会社 稲沢工場	090-8868-1743
	稲沢市	27	一般社団法人教育サポート協会	千葉 格	492-8143 愛知県稲沢市長駅前2-4-7	090-9170-3750
	清須市	32	清須あおぞら子ども食堂	河上 博美	452-0908 清須市長寺野郷前43-2	080-7034-0883
	清須市	33	星の宮ネットワーク	横井 秀則	452-0901 清須市長阿原宮東205	080-4302-6808
	北名古屋市	1	NPO法人フードバンク愛知 (北名古屋倉庫)	尾形 秋夫	481-0011 北名古屋市長高田寺砂場18番地	0568-65-6650
	津島市	26	つしまこども食堂	谷口 雅子	452-0835 愛知県名古屋市長西区丸野2-81 トゥルッコ名古屋	090-2937-2547
	愛西市	11	町方ふれあい子ども食堂	水谷 智恵	496-8014 愛西市長町方町大原75-3	090-7023-9152
	愛西市	25	社会福祉法人愛西市社会福祉協議会	原田 健三	496-8044 愛知県愛西市江西町宮西38	0567-37-3313
知多	蟹江町	2	NPO法人フードバンク愛知 (蟹江倉庫)	尾形 秋夫	497-0037 海部郡蟹江町1-114	0568-65-6650
	半田市	8	社会福祉法人半田市社会福祉協議会	加藤 金吉	475-0875 半田市長山崎町14番地	0569-23-7361(本部) 0569-25-0002 (ポランティア地域ささえあいセンター)
	常滑市	3	NPO法人フードバンク愛知 (常滑倉庫)	尾形 秋夫	479-0844 常滑市長大和町1-155-3	0568-65-6650
	常滑市	15	社会福祉法人常滑市社会福祉協議会	柴山 和弘	479-0852 常滑市長神明町3-35	0569-43-0660
	知多市	20	社会福祉法人知多市社会福祉協議会	渡辺 正敏	478-0047 知多市長緑町32-6	0562-33-7400
西三河	武豊町	14	社会福祉法人武豊町社会福祉協議会	中川 美知夫	470-2392 知多郡武豊町字長尾山2	0569-73-3104
	岡崎市	18	特定非営利活動法人葵風	月東 佳寿美	444-0075 岡崎市長伊賀町7-106	090-8458-7844
	刈谷市	4	子ども食堂ほっとライス (特定非営利活動法人西三河在宅介護センター内)	竹上 富彦	448-0821 刈谷市長御幸町3-78	0566-28-0500
	豊田市	12	龍の子	大羽 文美	471-0852 豊田市長御幸町3-66-2	090-7439-8264
	豊田市	16	西三河子ども食堂応援ステーション	山内 健二	471-0802 豊田市長志賀町山の神506-3	0565-88-0660 090-8151-7935
	豊田市	21	一般社団法人このき	中川 美知子	471-0869 豊田市長十塚町2-1 コーポとつが103	090-9908-1910
東三河	西尾市	23	フードバンクにしお	布間 裕子	445-0852 愛知県西尾市長花ノ木町2-1	0563-56-5900
	豊橋市	5	NPO法人東三河フードバンク	佐藤 多一	440-0806 豊橋市長八町二丁目16 豊橋市職員会館1F	0532-75-3826
	豊川市	24	豊川市更生保護女性会	内藤 幸子	442-0826 愛知県豊川市長牛久保町稲市場22	090-8158-2951
	豊川市	34	子どもの味方協会	早津 小波	442-0834 豊川市長西香ノ木町1-39-3	090-3562-4990

子どもの居場所 応援プラザ

相談専門窓口

地域における子どもの居場所として、子ども食堂の取組が広がっています。そこで、子ども食堂を開設・運営するうえでの、様々な相談に応じるため、専門の窓口を開設しました。

あなたも「子どもの居場所」に関わってみませんか

子ども食堂を
やってみたい。

どんな活動を
しているの？

余った時間で
何かお手伝い
してみたい。

応援プラザ 設置場所

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内
名古屋市東区白壁1丁目50番地 愛知県社会福祉会館2階

TEL 052-212-5504 FAX 052-212-5505 Eメール info@aichivc.jp

※本事業は、愛知県の補助を受け、愛知県社会福祉協議会が実施しています。

「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」について

あいち子ども食堂 応援ポータルサイト



あいち子ども食堂応援ポータルサイトとは

愛知県社会福祉協議会では、愛知県の補助を受け、子どもの居場所としての「子ども食堂」の設置・拡大を図るため、2019年から「子どもの居場所づくり応援事業」を実施しています。

「子ども食堂」の情報発信基地として「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」を開設し、ホームページ上で子どもの居場所

※詳細は下記のアドレスかQRコードよりホームページにアクセスしてご覧ください。
URL : <https://www.aichi-kodomoshokudo.jp/>



。「子ども食堂や学習支援について知りたい」、「子ども食堂を開設したいけど、どうしたらいいですか?」「子ども食堂へ食材を寄附したい」など、お気軽にお問合せください。



このポータルサイトは赤い羽根共同募金配分金により作成しました。

「あいち子ども食堂応援ステーション」の 認定制度について



あいち子ども食堂応援ステーション

愛知県社会福祉協議会では、2022年4月から、あいち子ども食堂応援ステーション(通称:「あいステ」)の認定制度を開始しました。

この「あいステ」は、企業等からの寄附食材等を一時的に保管し、近隣地域の子ども食堂などに提供する各地域の拠点のことで、県内35の団体(2024年3月現在)が認定を受けています。

食材等の提供をいただける皆様へ

「あいステ」に食材等の寄付をご希望の方は、「あいち子ども食堂ポータルサイト」の専用のフォームからお申し込みください。

※寄付のお申込は下記のアドレスかQRコードよりお申し込みください。

URL : <https://6b6bd252.form.kintoneapp.com/public/aistation-syokuzaikihu>



子ども食堂を運営 されている皆様へ

「あいステ」を利用されたい場合は、専用のポータルサイトからの利用申し込みをお願いします。利用申し込みをされると、愛知県社会福祉協議会へ寄贈のあった食材等が「あいステ」に提供された際に、登録されたメールアドレスにお知らせします。

※利用申込は下記のアドレスかQRコードよりお申し込みください。

URL : <https://6b6bd252.form.kintoneapp.com/public/aistation-riyoumousikomi>

